

16. 膀胱がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ							
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
				開腹手術	経尿道的手術					化学療法	膀胱内 注入療法	治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 泌尿器科	2	2	状況	○	○	○	○	×	癌の進行度に応じて最適な治療法を選択します。放射線療法は市立大学附属病院等と連携しております。	ア	http://			
			実績	なし	あり	あり	あり	なし			イ	http://		
2 外科	1	1	状況	×	×	×	×	×	病状の進行に伴う種々の苦痛(特に疼痛)や抗癌化学療法に伴う苦痛の緩和に積極的に取り組んでいます。	ア	http://			
			実績	なし	なし	なし	なし	なし			イ	http://		
3			状況							ア	http://			
			実績							イ	http://			
4			状況							ア	http://			
			実績							イ	http://			
5			状況							ア	http://			
			実績							イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:膀胱がん 膀胱がん、多発性膀胱腫瘍
------------------------------------	------------------------